

佐賀県育成会だより

～知的障がい者のしあわせ～

第71号 令和7年11月1日発行



～佐賀県手をつなぐ育成会～

詳しくはホームページをご覧ください。

この機関紙は“赤い羽根共同募金”の配分金を受けて刊行しています。寄付者の皆様ありがとうございました。



第66回障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会

開催日：令和7年7月27日（日）

場 所：伊万里市民センター

第66回障がい児（者）の教育・福祉・就労研修佐賀県大会を開催しました。「サービスを知ろう！使おう！作ろう！」「合理的配慮で目指す地域共生社会」を大会スローガンとし、約510名の参加者があり盛会に終わることができました。参加された皆様、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

はじめに佐賀県手をつなぐ育成会大竹義治会長のあいさつがありました。

育成会の活動は、知的障がいのある本人が中心であり、本人活動を積極的に支援し、本人の声を実現することが求められています。多様性を認め合う地域共生社会の実現を目指すとともに、明るく楽しく暮らすための「福祉サービス」や「学童期における合理的配慮」について考える大会とします。と、述べられました。



佐賀県手をつなぐ育成会 主催代表の皆様
大竹義治会長

基調講演・中央情勢報告

講師 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会
常務理事兼事務局長 又村あおい 様

・「成年後見制度」の大幅な見直し

現在は、①一度使うと一生使い続けられないといけない ②後見人を家裁が決めるとなかなか交代できず「後見人ガチャ」とも言える状況になっている。後見人を専門家に任せることもできるが、月2万円程度（専門職）かかる。福祉サービスの場合は0円。育成会として親なき後のことを考えると今のままでは使いにくい。

今後は、「一度使っても一生じゃないにする。」そもそも成年後見制度は、高齢＝認知症のイメージで作られたもの。しかし知的では30～40歳代で使い始めるため、現実的でない。スポット利用や、遺産相続や福祉サービスなど項目ごとに決められるようになるかも？

・入所施設における全入所者への意向確認

入所施設やグループホームへの影響大。なぜなら国連より「障害者の権利に関する条約」に基づき「入所施設」の廃止（とも言える）を求められている。これは、国連が「本人の意思なく入所している人ばかりじゃないか？」と疑っているが、そこで、入所者本人への意向確認が指定基準に明記されることになった。意向確認は令和8年7月より義務化される。

又村様・・・実際、本人の意思は大切だが、家族としては複雑…。

家としては帰ってこられないから預けているところもある。



第1分科会 「こんなときどうすればいいの？」

パネリスト 佐賀地区障がい者基幹相談支援センター 主任 村岡 智紀 様
北部地域障がい者相談支援センター センター長 岸川 洋子 様
総合相談支援センターキャッチ 理事長 高尾 一弘 様

助言者 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長 又村あおい 様

司会進行 伊万里市手をつなぐ育成会

川原 貴子 様

第1分科会では大会前に、事前アンケートをとり

①親なき後 ②福祉サービスの2点に関心が高かったようです。

3人のパネリストより発表をしていただきました。

まとめで、司会進行の川原様より、「福祉に自分から係わることが大切
未来の子ども達のためにみんなで切り開いていきましょう。」と発言がありました。

村岡智紀様・・・・・・・・・・隣の地区ですが一緒にがんばりましょう。

岸田洋子様・・・・・・・・・・これをきっかけに繋がっていったら。

高尾一弘様・・・・・・・・・・誰もが暮らしやすい街づくりを進めていきたい。

又村常務理事兼事務局長・・拠点とつくサービスはアイデア勝負。今日をきっかけに頑張ってい
きましょう。福祉は作るもの。待っていても来ない。



第2分科会 学童期における「合理的配慮」を正しく理解しよう！

講師 熊本大学大学院教育学研究科教授 菊池 哲平 様

進行 しょうがい生活支援の会すみか代表理事 芹田 洋志 様

第2分科会は、会場に入りきれないほどの参加者になりました。

講師の菊池様より、合理的配慮の提供は義務付けられているが、限界があり、合理的配慮を提供する前提としての「基礎的環境整備」の充実が鍵となる。基礎的環境を進めるにあたっては、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえることが重要という事等を話されました。

第2分科会の中で、質疑応答がありました。

Q：ユニバーサルデザインが浸透していない。合理的配慮を必要とする人が多くなる。また、利用者が社会に出たときには、合理的配慮をする側になるので、どんな支援を心掛けた方がよいのか？

A：まだまだ浸透しないのが事実。今ある形を崩す必要はない。(ユニバーサルデザインされていないものや建物を・・・)ただ、これから作るならUD化を進めていくとよい。ただ、建築関係の方がUDを知っているのが大きな課題。今回の話のテーマは、学童期が主であるので、社会に出たときを視野に入れていく必要がある。当事者は、こういったときに、支援をもとめるのかのスキルを、身につけておく建設的対話が必要だ。

本人分科会

発表者：いまりの里（有田町）

藤 泰基 様

発表者：小麦の家（伊万里市）

木須 千晴 様

発表者：にこにこいまり（伊万里市）

芝 紗里奈 様

午前中は、ボッチャ、フリスビー等の軽スポーツを、日頃会わない人たちと親睦を深め楽しく競技しました。

午後より、本人分科会を開催し、3人の発表者より仕事で頑張っている事、休日の楽しみ等を発表していただきました。

小麦の木須さんは、「将来の夢は自分のクッキー屋さんを持つことです。そのために、これからも小麦の家でいろんなことを学んでいきたいです。」と発表されました。



軽スポーツの様子



発表者のみなさま

第66回障がい児(者)の教育・福祉・就労研修大会 表彰受賞者

感謝状

【佐賀県特別支援教育研究会】

陣内 綾 様 佐賀県立大和特別支援学校
堀田 素子 様 前佐賀県立唐津特別支援学校
久野 泰子 様 佐賀県立うれしの特別支援学校
犬山 泰子 様 有田町立有田中部小学校
馬場 聖子 様 武雄市立橘小学校

表彰状

【手をつなぐ育成会】

原 広 様 伊万里市手をつなぐ育成会
田代 直紹 様 伊万里市手をつなぐ育成会
牧崎 茂 様 鳥栖市手をつなぐ育成会
川棚 一敏 様 富士学園家族会

【本人表彰】

平川 智美 様 ワークスペースかん
大竹 宏 様 どんぐり村
松永 順子 様 特別養護老人ホーム浜玉荘
林田 栄三 様 有限会社 堀江製パン

【佐賀県知的障害者福祉協会】

高平 信 様 脊振学園



表彰受賞者の皆様 表彰受賞おめでとうございます。
今後ますますご発展、ご飛躍されますようお祈り申し上げます。

表彰受賞者代表の皆様

佐賀県手をつなぐ育成会 事業所協議会運動会

令和7年10月21日（火） 場所：有田町文化体育館

参加者：事業所11カ所 利用者232名 支援者101名



閉会式の様子

「暑い暑い」と言っていた夏が、いつの間にか肌寒い季節となり、毎年恒例の運動会を開催しました。

選手宣誓、ラジオ体操をして競技が始まり、パン食い競争、玉入れ、事業所対抗リレーをしました。

日頃は、それぞれ違う事業所で働いていますが、この日はみんなで楽しく競技をしました。

体育館内は楽しそうな歓声が響きわたりました。



事業所対抗リレー



事業所対抗玉入れ



パン食い競争



「手をつなぐ」

年間購読料 3,900円

知的な障がいのある当事者（本人・家族）に関する教育・福祉・就労についての情報がわかりやすく掲載されています。毎月、一回のお届けです。「手をつなぐ」は全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発刊する機関誌です。



障がいのある人が使える支援

¥1,540

- 1：障害者手帳についてしろう
- 2：お金のことについて
- 3：支援って何？どこで相談できるの？
- 4：住むことをお手伝いするサービス
- 5：通う・働くをお手伝いするサービス
- 6：障害のある子どもを支援するサービス

【問合せ先】佐賀県手をつなぐ育成会 TEL/FAX 0952-29-7342

第64回 九州地区手をつなぐ育成会沖縄大会 併催 九州地区手をつなぐ事業所協議会九州大会 期日：令和7年10月18日（土） 場所：パシフィックホテル沖縄

佐賀県手をつなぐ育成会より、昨年SAGA2024障害者スポーツ大会ボウリングへ出場された、徳永祐太郎さんが、本人大会の発表者として参加していただきました。

就労の事、音楽が好きで好きなアーティストの事、大阪のユニバーサルスタジオに行く為に、500円貯金をしている事。昨年の障害者スポーツ大会では4位で悔しかったので、これからもっと練習して再度佐賀県の代表として金メダルを取りたい。と発表されました。発表後は、みなさんと名刺交換をされました。



中央 徳永祐太郎さん

令和7年度 佐賀県手をつなぐ育成会行事予定

11	8日～9日	第10回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会東京大会	東京都大田区
	11日（火）	社会参加推進協議会	福祉会館 集会室
	26日（水）	事業所協議会連絡会	福祉会館 集会室
12	19日（金）	第67回障がい児(者)の教育・福祉・就労研修大会 実行委員会	福祉会館 集会室
	21日（日）	第14回障害者の主張大会	アバンセ（佐賀市）
	23日（火）	佐賀県手をつなぐ育成会 理事委員会	福祉会館 集会室
1	9日（金）	新年情報交換会	ホテルマリタレー創世
	20日（火）	市町会長、施設保護者会（家族会）会長等会同	福祉会館 集会室
	21日（水）	佐賀県手をつなぐ育成会 理事選定委員会	福祉会館 集会室
2	6日（金）	知的障害者等相談員研修	メートプラザ
	未定	事業所協議会ボウリング大会	未定
3	未定	理事会	未定

一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会の
会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

（団体総合生活保険）

障がいのある方とそこそご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？^(*)

(*)ぜんち共済のお客様アンケートより

久保会長とぜんち共済社長の榎本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください!!

動画はこちらから



<https://youtu.be/MU8sw5liByk>

特長1



代理手続き
代理告知が可能

障がいのある方向け
プラン

特長2



告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向け
プラン

特長3



“親なきあと”に
備える補償

障がいのある方
のご家族向けプラン

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先（取扱代理店）に資料請求を
お待ちしております。

【お問い合わせ先取扱代理店】

ぜんち共済株式会社

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

MAIL: gan@z-kyosai.com

（営業時間 平日9:00～17:00（土日・祝日・年末年始を除く））

たった1分

スマホでカンタン資料請求

※QRコードはデンソーウェーブの
登録商標です。



【5愛保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL: 03-3515-4126（営業時間：平日9:00～17:00）

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のブランド名です。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。